

大学入試の基礎知識 vol.14 【キャンパスライフについて】

中学生や高校生と違って自由なイメージがある大学生。今回は授業以外での大学生の生活面を少しご紹介してみましよう。

公認団体・体育会

運動部を体育会という場合が多いです。高校ではなかったスポーツにも取り組みます。文科系の団体も高校までとは比較にならないほど多岐にわたります。吹奏楽や ESS といった高校まででもおなじみだった団体から、落語研究会、漫画研究会、クイズ研究会、プログラミング、レゴ、ボードゲーム研究会なんていうものもあります。また大学祭（文化祭）の実行委員会もあります。



サークル活動

大学に公認されていないけれど、それなりの人数で活動しているサークルがたくさんあります。体育会ほど厳しい練習や勝利を目指すのではなく、スポーツを楽しみたいという人はサークルに入るほうがいいかもしれませんね。大規模な大学だと数百というサークルがあります。公認団体でも同じなのですが、活動が近隣だけでなく日本や世界に広がることもあります。また他大学と一緒に活動したり、協力してイベントを実施するといったこともあります。

施設(図書館など)

大学の授業は中学校や高校のように朝から夕方までビッシリ詰まっているわけではありません。自分で授業を組むので必ずというわけではありませんが、ほとんどの学生のスケジュールで空き時間が生じます。その時に、どこで過ごすかが重要です。そんなときに使いやすいのが図書館です。蔵書は貴重な専門書から柔らかい内容のものまでありますし、課題やレポートを仕上げるスペースもあります。大学を訪れた際には必ず図書館をチェックしてみてくださいね。

また図書館だけでなくカフェや、フリースペースで過ごすこともあるでしょう。また購買部や書店、コンビニなど買い物もできますし、体育館、トレーニングルーム、プールといった体を動かす施設もあります。キリスト教系の大学には礼拝堂もあり、結婚式を挙げることもできます。

学食

ほとんどの大学の食堂では安くてボリュームのあるメニューを提供しています。空き時間を学食で過ごす学生も多いですね。一般の人も利用できることが多いので、気になる大学の食堂を訪れて居心地をチェックしてみるのも面白いでしょう。大規模な食堂だけでなく単独の店舗が入っている大学もあります。私の母校にはステーキ店がありましたよ。お金がなくて、2、3回しか入ったことはありませんでしたが。

アルバイト

公認団体やサークル活動で使うお金、友達との飲食、趣味や遊びに旅行。大学生になると、かなり大きなお金を使う人も多いです。そのためにアルバイトに精を出すこととなります。タウンワークによると大学生のアルバイトでの平均月収は 5 万円ほど、中には 10 万円以上稼ぐ人もいます。アルバイトはお金を稼ぐだけではなく社会との貴重な接点になります。興味の幅を広げる意味でも、ぜひチャレンジしてもらいたいですね。

